

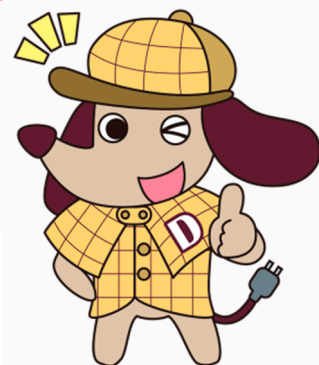
# 見える化通信

# シビックテック

～新しい社会課題解決の形～

社会の課題をIT等のテクノロジーを活用して市民自らが解決しようとする活動「シビックテック」。今回は、新しい社会課題解決の形の一つとなりうる、注目すべきムーブメントをご紹介します。

電機連合 総合産業・社会政策部門



## ■シビックテックのイメージ

## Code for Japanのミッション

オープンにつながり、社会をアップデートする

公共モデルを「行政依存」から



出所：CtJ 資料

多くの活動は「シビックテック」と呼ばれており、ＩＴを使って市民が自ら地域の課題解決に取り組む新しい活動として注目されています。

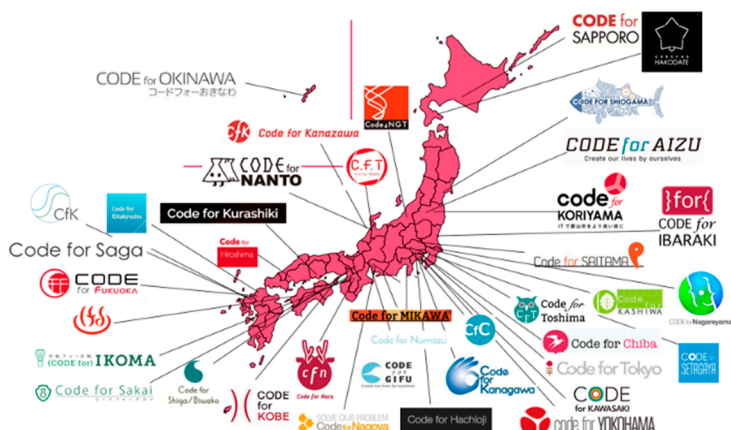
シビツクテツクとは？

に新しいところです。

オードリー氏も述べている通り、このアプリはオードリー氏が一人で作ったものではありません。ITを駆使して様々な地域の課題を解決しようという台湾の市民エンジニア（シビックハッカー）達が中心となった「コミュニティ組織」GOV（ガブゼロ）との連携の成果です。

コロナ対策で脚光を浴びた  
台湾のマスクマツプ

## ■全国のCfJブリゲイド



出所：CfJ 資料

09年には非営利組織「Code for America」が誕生し、フィラデルフィアでアプリ「Textizen (テキシチズン)」を使って市民から集めた意見を行政の施策に反映させる仕組みが導入されました。

日本では東日本大震災の際、ボランティアのエンジンニア約200人が協力し、各地の被害状況や避難所の物資の在庫情報等を集約した情報サイト「shinsai.info」が作られ、マスメディアでは得られない生活に密着した情報が提供されました。

その後、2013年に全国的なシビックテックコミュニティ「Code for Japan (CfJ)」が設立され、現在では地域の課題に取り組み「ブリゲイド」と呼ばれる組織「Code for X (地域名)」が全国各地で活動しています。

東京都の新型コロナウィルス感染症対策サイトもこのことによって立ち上げられました。このサイト構築にはプロのエンジニアやデザイナーだけでなく、全国から学生なども含めた300人にも及ぶボランティアが参加し、受注からわずか1日半で完成させたことが大きな話題になりました。

カギとなるオープンソースと  
オープンデータ

このサイトはプログラムの設計図であるコードを誰もが無償で使えるようオープンソースとして公開していたため、同様のサイトを作りたいと考えた多くの自治体は無駄な予算や時間をかけることなく独自のサイトを完成させることができました。

電機連合も注目！

電機連合も社会課題解決のための新しい形としてシビックテックに注目しており、No.42 技術者フォーラムではこの講演を予定しています。引続き、今後の活動を注視していきます。